

今年から伝統ある「皮膚科の臨床」の編集委員の末席に加えていただきました。長年編集委員を務められた大塚藤男先生の後任とのことで、身の引き締まる思いであります。編集委員の諸先輩方の足を引っ張らないよう、精一杯努力する所存ですので、どうぞ宜しくお願い致します。私が皮膚科に入局して間のない頃、「皮膚科の臨床」に投稿したことを懐かしく思い出します。編集委員の先生方の貴重なご指摘に従って、原稿を修正して再投稿しておりました。今度は自分が逆の立場にいることに、感慨深いものがあります。

3月というと大学入試シーズンの真っ只中です。医学部入試に関しては昨年いろいろな問題が取り上げられましたが、各大学が知恵を絞って入試に取り組んでいます。入学願書も印刷物としては配布せず、インターネットでダウンロードして提出させる大学が増えているようです。合格発表も各大学のホームページ上で確かめられますし、UCAROといった共通のサイトを利用して確認する大学もあります。私が受験した頃とは隔世の感があります。前期試験と後期試験の併願を含めて、複数通りの出願方法を併用できる大学もあります。私学の医学部でもセンター試験を併用できる大学が増えています。多様な入試方法を取り入れているのは、多様で優秀な学生を確保したい気持ちの表れだと思います。受験生の面接を1人当たり約1時間かけて行う大学もあるようです。入学後も真面目に勉強を続ける学生を獲得するため、各大学は必死になっているのだと思います。

アドミッション・ポリシーを定めている大学も多いと思います。私が所属する大学のアドミッション・ポリシーのなかに、「医学を学ぶ目的意識が明確で、……」という文言があります。多くの学生はクラブ活動なども謳歌しつつ、医学を学ぶ目的意識を明確に持ち続けてくれますが、一部にこの目的意識が希薄になっているのではと懸念される学生もいます。このことが、医師国家試験の成績（合格率）にも影響してきます。最近是国家試験が資格試験というより選抜試験のようになってきており、これはこれで問題だと思いますが、大学としては国家試験の成績も無視するわけにはいきません。入学時のモチベーションを維持して、留年や浪人をせずに国家試験に合格する学生を確保することが、入学試験に課せられた重要な課題のひとつなのかもしれません。

(佐伯秀久)

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第61巻 第3号 3月号 2019年3月1日発行（毎月1回1日発行） 定 価（本体 2,700 円＋税） 年間購読料金 定価（本体 42,100 円＋税） 〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村 直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14 TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕 TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕 FAX 03(3813) 0288 ホームページ http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005 広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600
---	---

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

- ・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。